

進路通信

親和中学校・親和女子高等学校
平成26年 5月29日(木) 第3号
進路指導部 [HPに高校版も掲載]
<http://www.kobe-shinwa.ed.jp>

汲温会近くの北門のサツキがきれいに咲いています。若葉青葉の美しい季節になりました。1年生は、先日、グリーンピア三木で宿泊オリエンテーションを行い、これから6年間を共に頑張る学年集団として学習やレクリエーションをしました。

中間考査を終え、ほっとひと息ついているのではないでしょう。定期考査や実力テストは、返却されたあとが大切です。

「やり直しノート」

「やり直しノート」作っていますか。できなかった問題について「やり直しノート」にもう一度解いて、次に同じ問題が出題されたときには解けるようにすることが大切です。



親和の自然・1階庭

「やり直しノート」の例

- 1 数学・英語・理科・社会は問題文まで写す。
図があれば、図まで書き写す。



↓

問題文の内容を理解すること(問題文の読解)が解答への土台

国語は、古典や和歌・俳句・短歌は本文まで写すが、小説や論説文は間となる文章だけを写す。(英語も同様)

- 2 まずは自分で解いてみて、分からないところは赤で書き込む。
- 3 解いてみて不明な問題は、先生に聞いて必ずできるようにしておく。
- 4 ノートに書き込んでためていくと、自分にとっての最高の弱点問題集となる。

試験の点数結果にかかわらず、試験のやり直しをしていくことが実力になります。中学生である今から習慣づけて積み重ねていくことを勧めます。

P(Plan:計画)D(Do:実施・実行)C(Check:点検・評価)A(Act:行為)サイクル

学習のPDCAサイクルの実践を意識しよう。上記で伝えた「やり直し」は「C」の点検・評価、及び「A」の行為につながります。中間考査後の「やり直し」で、できなかった問題や理解の不十分な問題について改善されるような学習をしてください。さらに7月に実施される期末考査に向けた計画を立て、その計画をもとに期末考査の実施まで学習をしていきます。

このPDCAサイクルを続けていくと、きっと学力の定着につながります。

ノートは学習の覚え書きだ!

NOTE とは「書きとめること・注釈」の意味です。板書はもちろんですが、板書だけでなく授業で先生から話された注意点やポイントも書きとめていくのが本来の学習ノートです。



中国の奇跡の竹

「中国の奇跡の竹」について以下の話があります。

中国のある所で、竹を育てようと種を蒔きました。毎日毎日、早く生長しないかなと楽しみにしていました。しかし種を蒔いてからは小さな芽が出るだけで、なかなか大きく育ちません。それでも毎日欠かさずに水をやり4年が経ちました。もう育たないのではないかとあきらめかけていた5年目のある日、朝、いつものように竹に水をやろうとして驚きました。なんとこの竹は突然一気に25メートルも伸びたのです。竹はこの4年間、土の中でいつの日か生長していくために深くその根を張っていたのです。

この竹の話は、今のみなさんにも当てはまると思います。中学校での行事や学習は、(高校生になってもまだ成長のための根を張っている状態かもしれません。)いつか大きく力強く成長するための根を張っている時期なのです。毎日の努力を積み重ねていくことで、努力の成果が現れてくる時期が来ます。人によって成果が現れてくる時期は違うでしょうが、中学生である今から高校卒業後の進路や大学卒業後の進路を考えて毎日の学校生活に励んでほしいと願います。そして竹のように生命力豊かに大きく伸びてほしいです。

「あいさつ」は心を豊かにし、人間関係を円滑にする

先日、中学生は「あいさつ週間」に取り組みました。どうでしたか。「あいさつ」はその人の人となりを表すと言われていています。友達とのおしゃべりに夢中になって、先生からあいさつされても気づかない生徒や時には恥ずかしいのか知らない顔をして通り過ぎてしまう生徒もいます。とても残念でなんとなく切ない気持ちになります。一方、部活動の先輩には聞いていて何か違和感のある「あいさつ言葉」でぺこぺこしているのを見かけます。横で先生が通り過ぎていても、第一が先輩で次が先生へのあいさつになっていることも多々あります。相手が誰であっても心のこもった気持ちのよい「あいさつ」を交わすのは大事なことです。何か間違っていないだろうかと感じてしまいます。

他の学校を訪問した際に、生徒がお客さんである自分に「こんにちは」「さようなら」とたくさんの生徒があいさつしてくれる学校があります。あいさつをされた者にとっては、とても快い心地になります。反対に、「誰やこの人は」とまるで不審者を見るような目で見ている生徒の多い学校もあります。胸に「来校証」をつけているにもかかわらず……。

身についた習慣は変えることがなかなかできません。よい意味で、よい習慣を身につけて心も体も成長してほしいです。

雑感

朝早くに学校へ来ると、鶯を始め小鳥たちのさえずりでとても心地よいです。進路指導部の窓を全て開け放ち、新鮮な風と空気を胸一杯に吸い、一日が始まります。

玄関の階段を右に折れると、たくさんの花がみんなの登校を迎えてくれています。今日も一日がんばれよと……。



親和の自然・1階庭